

新潟市フリースクール等 連携協議会

連携の目的と意義

《連携協議会の設置目的》

本市において、不登校児童生徒のために支援を行う民間施設（以下、フリースクール等）と学校、教育関係機関との連携を図りながら、不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等を図り、社会的自立を支援する目的で、本協議会を設置する。

《連携の意義》

○子ども・保護者にとって

- 学校外における「居場所」「学習の機会」についての情報を容易に正確に得ることができ、「居場所」「学習の機会」の選択肢が増える。
- 従来、ややもすると「学校に行けない負い目」を感じていた子ども、保護者がそのような感情から解放される。

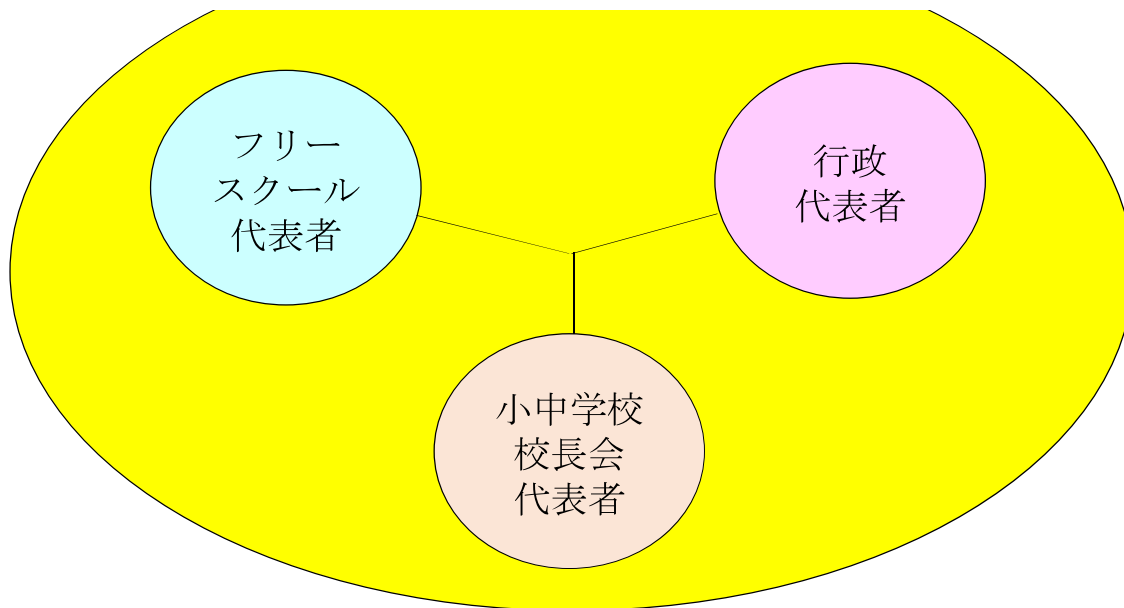
連携の目的と意義

《連携の意義》

- 学校にとって
 - 学校外の施設に通っている子どもの情報を得ることが容易になる。
 - 施設との連携を通して、保護者、子どもとのつながりが強まり、相互理解が進む。
 - フリースクール等のノウハウを学ぶことができる。
- フリースクール等にとって
 - 信頼度が上がる。
 - 活動の幅が広がる。
 - 学校との連携が進む。
- 行政にとって
 - 子どもの安全確保ができる。
 - 不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援の幅が広がる。

連携の全体像

新潟市フリースクール連携協議会



【フリースクールの枠割】

- ・新規フリースクールの視察、助言
- ・連携協議会の司会

【行政の役割】

- ・新規フリースクールの視察、助言
- ・居場所合同相談会への参加、後援
- ・広報活動（HPや市の広報誌）
- ・FS連携協議会の周知
- ・事務局

【小中学校校長会代表者の役割】

- ・新規フリースクールの視察、助言
- ・校長会での連携協議会の周知

【協議会加盟のフリースクール】

- ・元気カレッジあきは
- ・ロビオキ
- ・トライ式中等部
- ・サンフライト

8校

- ・第一学院中等部
- ・イロトリドリ
- ・イロドリ
- ・開志中等部

フリースクール連携協議会の活動

①子どもたちの安全確保

民間施設の適切性を見定める。

= 新規加入の是非

・・・書類提出と定期訪問

②情報提供・相談窓口

- ・「居場所合同相談会」の開催 ※教育委員会後援
- ・市のホームページ、新潟市子育て応援パンフレット「スキップ」
- ・校長会、教頭会、生徒指導主事会等での紹介

③学校と民間施設等との情報共有の条件整備

- ・指導要録上出席とできる要件 ・・・ 令和元年11月6日（通知）
- ・学習内容、活動内容を共有するための共通フォーマットの提示、改善 ・・・ 評価・評定への反映の指針

新規加盟団体のチェック機能

ステップ 1

書類の提出
「民間施設に関する調査票」

ステップ 2

連絡協議会委員による施設の視察・聞き取り

ステップ 3

「不登校相談会」において、保護者等との面談

連携協議会委員会において協議

連携協議会への加盟